議員全員協議会資料
令和２年 11 月４日
健　　康　　部
福　　祉　　部
市　民　防　災　部

新型コロナウイルス染症対策について

１．陽性者の確認状況（10 月 30 日以降）

No.	年代・性別	経緯		現在の状況
		判明日	行動歴	
11 例目 （県 218 例目）	80 代以上 女性	10 月 30 日 PCR（環保）	10/29　救急搬送 ※通所型介護施設を利用	死亡 （10 月 31 日）
12 例目 （県 219 例目）	60 代 女性	10 月 30 日 PCR（環保）	11 例目の同居人	無症状 入院中
13 例目 （県 225 例目）	40 代 女性	10 月 31 日 PCR（環保）	11 例目利用の通所型介護施設の職員	軽症 入院中
14 例目 （県 226 例目）	50 代 女性	10 月 31 日 PCR（環保）	11 例目利用の通所型介護施設の職員	無症状 入院中
15 例目 （県 227 例目）	60 代 女性	10 月 31 日 PCR（環保）	12 例目の知人	無症状 入院中
16 例目 （県 232 例目）	80 代以上 女性	11 月 1 日 PCR（環保）	11 例目利用の通所型介護施設の利用者 ※入居型施設の入所者	無症状 入院中
17 例目 （県 233 例目）	70 代 女性	11 月 1 日 PCR（環保）	11 例目利用の通所型介護施設の利用者	軽症 入院中
18 例目 （県 234 例目）	80 代以上 女性	11 月 1 日 PCR（環保）	11 例目利用の通所型介護施設の利用者	無症状 入院中
19 例目 （県 235 例目）	80 代以上 女性	11 月 1 日 PCR（環保）	11 例目利用の通所型介護施設の利用者	無症状 入院中
20 例目 （県 236 例目）	70 代 女性	11 月 1 日 PCR（環保）	10/20　症状出現 10/30　医療機関に救急搬送 ※同居人（故人）が 11 例目通所の施設を利用（10/17）	重症 入院中
21 例目 （県 244 例目）	80 代以上 女性	11 月 2 日 ＬＡＭＰ	16 例目と同じ入居型施設の入所者 11/２　医療機関を受診	軽症 入院中
22 例目 （県 245 例目）	80 代以上 女性	11 月 2 日 ＬＡＭＰ	11 例目利用の通所型介護施設の利用者 11/２　医療機関を受診	無症状 入院中

２．施設名の公表（11 月１日）　※11 例目利用の通所型介護施設

施設名	デイサービスセンターひまわり苑
所在地	大字糠塚字下屋敷６番地３
公表の理由	➢ 施設に関係する陽性者が連日確認されクラスターが発生しており、さらなる感染拡大が懸念される ➢ 通所型という施設の性格上、利用者の行動範囲が広く感染のおそれのある関係者の特定に時間を要することから、感染拡大の防止を図るため広く注意喚起するもの

【参考】提供サービス等の概要

提供サービス	通所介護、居宅介護支援
定員	平日 35 名、土曜 25 名
職員	計 20 名　管理者 1 名、生活相談員 1 名、看護職員 2 名、 介護職員 14 名、ケアマネジャー2 名

※10 月 30 日から休業している。

３．保健所に対する応援派遣の状況

機関名	派遣内容	支援内容
青森県	・県感染症対策コーディネーター ・三戸地方保健所（所長以下）	積極的疫学調査やマネジメントに係る支援
十和田市 三沢市	保健師	積極的疫学調査に係る支援
市民病院	医師、看護師ほか	陽性者の入院調整に係る支援

福祉施設への感染症対策支援について

１　マスクの配付

- 保育所・認定こども園[1]（111 施設）　5,520 枚
- 児童館（15 館）　1,350 枚
- 放課後児童クラブ（47 か所）　4,230 枚
- 高齢者施設[2]（63 施設）　7,900 枚　（別途、国・県からマスク・消毒液配付）
- 障害者施設（210 施設）　11,000 枚

２　マスク・消毒液等の物品購入費用に対する助成

- 保育所・認定こども園　元年度　52 施設【１施設当たり上限 50 万円】
  ２年度　94 施設（見込み）【１施設当たり上限 50 万円※】
- 児童館　２年度　15 館【１館当たり上限 50 万円】
- 障害者施設　元年度　22 事業所
  ２年度　約 250 事業所(見込み)【１事業所当たり上限 20 万円】

３　施設（建物・設備）の消毒費用に対する助成

- 障害者施設　３事業所（見込み）【１事業所当たり事業費上限 40 万円】

４　感染症対策を行う職員の人件費に対する助成

- 保育所・認定こども園　94 施設（見込み）【１施設当たり上限 50 万円※】

※ ‥‥ ２・４を合計した上限額

５　テレワーク等の導入費用に対する助成

- 就労系障害福祉サービス事業所　６事業所【１事業所当たり事業費上限 250 万円】

６　衛生・防護用品の備蓄

厚生労働省から市へ配付された社会福祉施設向け衛生・防護用品の備蓄状況（10 月末現在）

- ・サージカルマスク　74,000 枚
- ・アイソレーションガウン　1,080 枚
- ・フェイスシールド　1,000 枚
- ・手袋　17,000 枚
- ・ゴーグル　1,000 枚
- ・キャップ　4,000 枚

今後の追加備蓄予定（11 月～翌年３月）

- ・不織布マスク　415,000 枚
- ・手袋　91,500 枚

７　今後の追加支援（予定）

非接触型体温計の配付（児童館、放課後児童クラブ）

このほか、国（厚生労働省）や県から発出される感染症対策関連通知をその都度速やかに対象施設に送付し、各施設において感染予防並びに感染拡大防止に努めていただいている。

---

[1] 幼稚園、小規模保育事業所、認可外保育施設、病児保育事業者を含む

[2] 養護老人ホーム、軽費老人ホーム（ケアハウス）、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、生活支援ハウス（当該 63 施設には介護施設を含んでいない）

介護保険サービス事業所への対応について

１　これまでの新型コロナウイルス感染症に関する事業所への対応

⑴　事業所への指導

・令和２年２月　市ホームページに、国・県・市の新型コロナウイルス感染症に関する通知をまとめて掲載

・重要な通知については、随時事業所宛てメールで直接周知

⑵　衛生用品について

・令和２年３月～４月　マスク、消毒用エタノール等の衛生用品について、需要量調査、現物配布を実施

・11 月中に、使い捨て手袋の配布を予定

２　通所系サービス事業所で感染者が発生した場合の対応（厚生労働省通知）

・保健所が事業所へ休業を要請

・休業する場合は、事業所が市へ報告

・事業所は、利用者及び家族へ丁寧に説明し、ケアマネジャーと連携して、代替サービスを確保

・事業所の事業継続については、独立行政法人福祉医療機構における融資制度、雇用調整助成金の活用が可能

※再開に向けては、県・市の補助事業の活用が可能

３　今般の陽性者発生後の対応

⑴　当該事業所及び利用者の対応

・陽性者が発生した事業所は、利用者及び職員全員の検査受診について協力

※検査場所へ自力で行けない利用者について、当該事業所職員が送迎を実施

・PCR 検査の結果陰性の利用者は、当該事業所休止期間の代替サービスの利用意向等について、担当ケアマネジャーへ相談

⑵　市の対応

・10 月 30 日　市内事業所に対し、感染症予防対策の再徹底、利用者及び職員の健康観察の継続について事務連絡を発出

・11 月１日　事業所における衛生用品の購入、職員の割増賃金等のかかり増し経費の補助制度及び市が備蓄している衛生用品（マスク、ガウン等）の提供について周知

※11 月１日　デイサービスセンターひまわり苑に対して、衛生用品（ガウン 45 着、マスク 2000 枚、使い捨て手袋 50 双、キャップ 100 枚、ゴーグル 10 個）を提供